

とみ 富里市 十三の景観マップ

① 新木戸大銀杏公園



社台ファームの跡地に整備された公園。牧場に大きな銀杏の木は、今では公園のシンボルになっている。案内板の馬と白の木柵が牧場であったことを伝えている。

② 日吉倉の谷津田の風景



市の北部に位置する北総台地を彷彿させる谷津田の風景。自然だけの視界が広がっている。

③ 久能駒形神社の鳥居



一見、ただの神社と思うが、手前両サイドの巨木は鳥居の位置と見事に一致する。もともとは、駒形神社の鳥居ではないかと語られている。

④ 久能臥龍桜



市指定文化財(天然記念物)の臥龍桜は春の訪れとともに満開を迎える大木である。

⑤ 柏木道石碑道しるべ



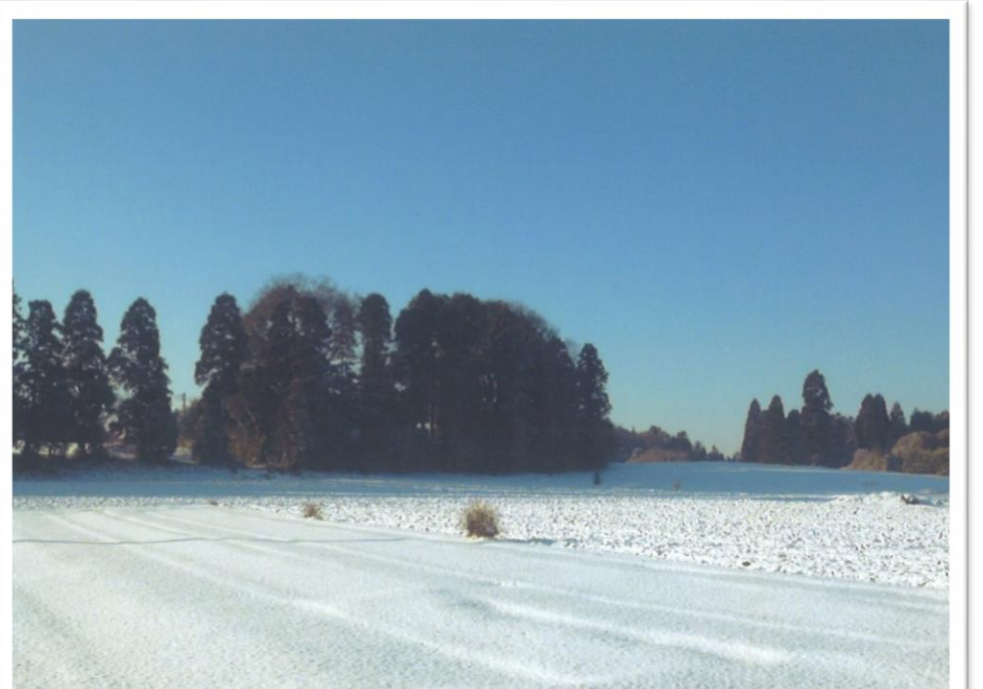
右は七栄村へ通じる七栄道成田道、左は柏木村(酒々井町)へ通じる案内板であったと言われている。

⑦ 新橋地区の集落と田園



開発が進む市内でも新橋地区の集落は江戸時代からの景観を伝えている。

⑧ 新橋地区の雪景色



雪に覆われた新橋地区の冬景色である。緑が色づく田園とはまた一味違い雪に覆われた景色は幻想的な光景である。

⑨ さかさ中沢城址



その昔、中沢城があった地である。水面に反射している城址田植え後の短い期間特有の光景である。

⑩ すいか柄のガスタンク



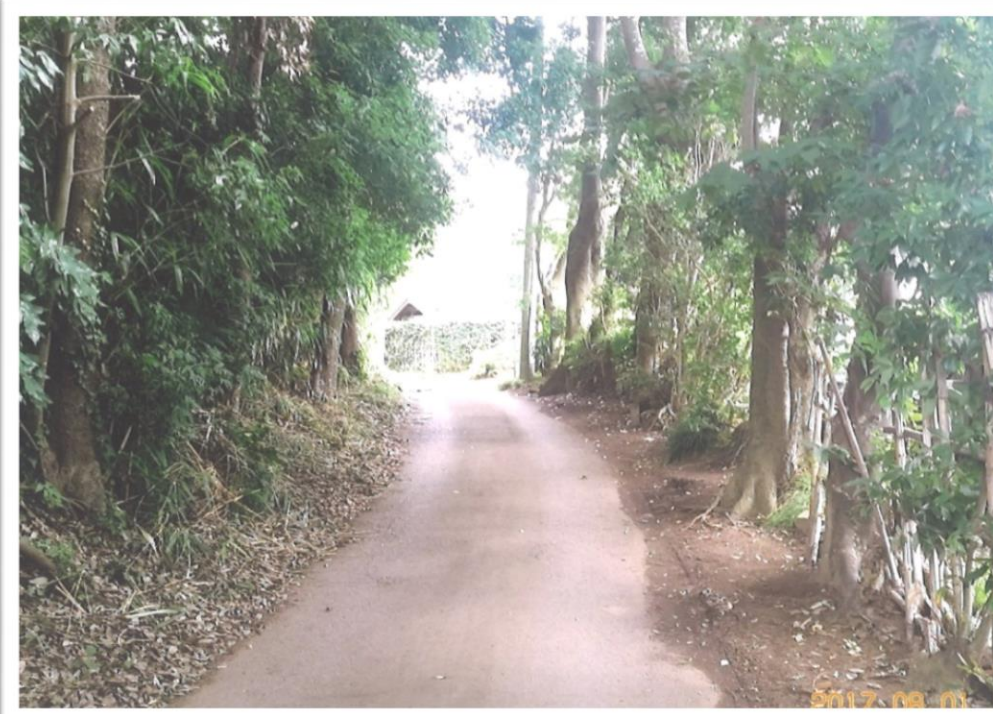
ガスタンクが富里名産のすいか柄に。すいかは富里ならではの景観として地域で愛されている。※2021年3月に解体されました。

⑪ 春の天神谷津



「心と会話できる里山より」 故郷がある人も…ない人も、子供のころの素直な自分と心の会話をしに来てください。待っています。

⑫ 高松地区の集落小径



高松地区の集落を南北に通る二軒幅の道である。昔と変わらぬ静かにひっそりとした集落の表情がうかがえる。

⑬ ぼっちのある農地の景観



落花生の収穫前に落花生畑で見られる「ぼっち」は、北総地域の光景である。ぼっちは、昔から変わらない姿のまま現在に受け継がれている。

